

# みんなの ひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。  
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



## 第2回 思いやり・までいラリーピンポン大会

7/2



▲ラリーを続ける参加者ら

# 思いやりとまでい

# 心で楽しむピンポン

「いかに相手と長くラリーを続けられるか」という村独自のルールで行なう

卓球大会「思いやり・までいラリーピンポン」大会が飯館中体育館で開かれ、参

加者らが思いやりの心で相手とボールを打ち合いました。

この大会は、新しい価値観や「までい」の精神を広く理解してもらおうことを目的に、思いやり・までいラリー事業実行委員会（庄司和明委員長）が、昨年引き続き県の地域づくり総合支援事業の補助を受けて実施しました。

大会には、村内外から卓球愛好者や初心者などを含め約120人が参加。また、今年も飯館中卓球部員が審判係などのスタッフとして大会運営をサポートしました。

大会は、夫婦の部や親子の部など6部門で行なわれ、相手とラリーを続けた時間で得点を競いました。なかには13分以上もラリーを続けたペアがいるなど、参加者らは相手が打ちやすいよう気を配りながら、和やかな雰囲気の中で楽しくラリーを続けていました。

## 大会成績（敬称略）

### 【思いやりの部】

#### 夫婦

優勝 林正好・愛子（白石）

▽2位 齋藤源吉・紀志（飯桶町）

▽3位 北原経・澄子（宮内）

#### 親子

優勝 大澤和巳・千恵（上飯桶）

▽2位 島義一・涼平（伊丹沢）

▽3位 佐藤松一・奈緒美（関沢）

#### 小学生

優勝 風越琢臣（福島市）

▽2位 島涼平（相馬市）

▽3位 細川すみれ（上飯桶）

#### 中学生

優勝 松浦大樹（大久保・外内）

▽2位 佐藤奈緒美（関沢）

▽3位 一乃彩（上飯桶）

#### 一般

優勝 鈴木昌幸（南相馬市）

▽2位 佐藤孝（深谷）

#### 60歳以上

優勝 肥沼静（福島市）

▽2位 奈良静子（川俣町）

▽3位 長島ヨシ子（福島市）

## 幼稚園で夏の風物詩 たなばた会 草野幼稚園 夕涼み会 飯樋幼稚園 草野幼稚園

草野・飯樋両幼稚園で、園児や保護者らによる夏の恒例行事が行われました。  
このうち草野幼稚園では、プレイルームで「たなばた会」が行なわれ、未就園児や保護者が見守る中、園児たちがクラス毎に可愛らしいダンスを披露しました。  
また、「夕涼み会」では、園庭に保護者らによるクジ引きやカキ氷などの出店、肝試しコーナーなどが設けられ、会場は大いに賑わいました。  
両日とも、園児たちが色とりどりの浴衣や甚平を着て参加し、家族らと一緒に楽しい夏のひと時を過ごしました。



▲かき氷を食べたりお菓子釣りを楽しむ園児たち（夕涼み会）



▲七夕飾りの下でダンスを披露する園児たち（たなばた会）



▲モーターボート湖上遊覧



▲ポニー乗馬体験

## 森と湖と人のふれあい

7/30 「はやま湖」まつり 2006



▲ダム施設内見学

今年で15回目を迎えた「はやま湖」森と湖まつりが大倉の真野ダム周辺を会場に開催され、多くの家族連れなどで賑わいました。  
このまつりは、人々に森林やダムなどの重要性について知ってもらうことを目的に、真野ダム事務所などが、毎年「森と湖に親しむ旬間」の期間中に開催しています。  
まつりでは、ダム施設や取水トンネルの見学、ポニー乗馬体験、モーターボートによる湖上遊覧、釣り大会などが行なわれたほか、地元行政区による出店や特産品販売コーナーも設けられ、テントの前には多くの買い物客が列をつくっていました。



▲高さ69mからの放流

## 交通安全街頭キャンペーン



▲安全運転を呼びかける参加者ら

7/18 交通事故ゼロへ

村公民館にて、交通安全関係団体の会員ら20人が参加し「交通安全街頭キャンペーン」が行われました。  
夏は暑さで気がゆるみがちになり交通事故の発生度が高くなることから、県では毎年この時期を「夏の交通安全県民総ぐるみ運動期間」として、県内各地でキャンペーン活動を行っています。  
この日は、県道を走る150台の車を公民館駐車場に誘導し、ドライバーにチラシなどを配って安全運転を呼びかけました。



▲講演会のようす

## 生ごみリサイクル講演会

6/28

生ごみを減量・循環

村婦人会（上田秀会長）主催による「生ごみリサイクル講演会」が「いちばん館」で開かれ、会員ら約100人が通気式生ごみ保管排出容器を活用した生ごみの堆肥化などを学びました。  
講演では、東京都のNPO法人「生ごみリサイクル全国ネットワーク」の福渡和子事務長と、同じく東京都のNPO法人「北区リサイクラー活動機構」の竹腰里子理事長が、生ごみのもつ有効性を説き、焼却せず堆肥化に努め、畑に返す循環型の社会づくりを進める必要があることなどを講演しました。  
※通気式生ごみ保管排出容器は、住民課で1個1,000円です。

## ぽけっとのこころの

### 飯館分校への挑戦

相馬農業高等学校飯館分校、言わずと知れたわが村の唯一の高校です。

今から57年前の昭和24年、当時の方の熱い思いにより開校されたから、これまで3100人程の卒業生を世に送り出し、村内外で活躍していただいています。

今、この分校が少子化の中で大変心配される状況の中にあります。と言いますのは、「定員(40人)の半数割れを3年続けば直ちに廃校」という県の決まりの中で、年々

入学者が減少し、今年の入学者は25人。現在、3学年総定数120人に対し80人という生徒数です。分校のこれまで担ってきた役割

とこれからの飯館村を考える時、分校の「ある・なし」は大きな影

響を及ぼすであろうと考え、これまで折に触れ、県立校ではあるが何らかの村からの働きかけが必要ではないかと言ってきたところです。  
幸い、県から「じゃ、一緒に考えましょう」という話をいただき、現在、村では真剣に検討しているところです。

教育内容を充実させ、イメージを高めていくことによって、多くの方に分校を選んでもらわなければなりません。

幸い、先生方の努力によって、4年制大学にも毎年入学していますし、専門学校への入学や就職も充実しつつあります。

あとは、私たち村民がいかに分校を応援して「あの高校は実はいいよ」と村内外から評価を受けるかです。

校名変更も、その一つかもしれません。いろいろな特典も考えられるでしょう。皆さんの知恵と支援と情熱で、分校を再生してみようではありませんか。

平成18年8月1日

飯館村長 菅野 典雄

# 青色灯が輝く

## 防犯パトロールカー 出発!

7/7

### 「までい号」出発式



▲丹野課長から証書を受け取る菅野隊長ら

式では、南相馬警察署の丹野明雄生活安全課長が菅野隊長にパトロール実施者証を交付した後、菅野隊長と渡辺守男副隊長らが早速「までい号」に乗り込み、パトロールへ出発しました。同隊では、今後「までい号」で定期的にパトロールを行い、子どもの見守り活動や防犯活動を行うことになっています。

役場玄関前にて青色回転灯を装着した防犯パトロールカー「までい号」の出発式が行なわれました。この車は、飯館村防犯指導隊（菅野敬隊長）が、県警から青色回転灯を装着した車で防犯パトロールができる団体に指定されたことにより導入したもので、公用車の有効利用や村内をくまなく巡回するとの意味で「までい号」と名付けられ



▲「までい号」でパトロールに出発する菅野隊長ら

# 地域全体で子どもの健全育成を

このほど、白石小学校学区内行政区の有志らによる「白石小学校見まもり隊」が結成されました。

白石小の会食室で行なわれた結団式では、はじめに隊長の西尾豊さん（二枚橋・須萱）と新井川校長先生が「みんなで協力して子どもの健全育成に目を配っていきい」とあいさつ。続いて、菅野教育長と飯館駐在所の吉田班長から祝辞が述べられました。

また、発起人の佐藤真弘さん（二枚橋・須萱）が隊の活動内容などを説明し、最後に吉田班長から活動時に着用する帽子と腕章が西尾隊長に伝達されました。

隊の主な活動は、非行や事故防止に向けた通学指導やあいさつ運動などです。

村内における子どもの見守り隊は、飯桶町の「やさしく見守り隊」、草野の「田町組見守り隊」に続いて3団体目。学校の所在地区全てに見守り隊が組織されました。

## 白石小学校見まもり隊 結団式

7/19



▲結団式の様子

## 陸上共通4種競技で 県大会3位

7/5~7/7

### 栢澤涼香さん 東北大会へ



▲東北大会に出場する栢澤さん

飯館中3年生の栢澤涼香さん（草野）が、郡山市で開催された第49回福島県中学校体育大会陸上競技大会の共通女子4種競技で3位に入り、東北大会への出場を決めました。

4種競技は、100メートルハードル走、走り高跳び、砲丸投げ、200メートル走の4種目を一人で行い、その合計点数を競います。

栢澤さんは「緊張したけど、先生方の指導通りに力を発揮できました」と県大会を振り返り、「東北大会では4種目で自分のベスト記録を出したい」と力強く抱負を話していました。

東北大会は、8月7日から9日までの3日間、岩手県北上市で開催されます。

## 「幸せ地域社会」 実現のために

7/7

### 行政機構改革講演会



▲講演会の様子

村では、来年4月の組織改編に向けて職員による「行政機構改革検討委員会」を設置し、課や係および職員配置の見直しを行ないながら、小さくて効率の良い役場づくりと住民サービス向上に向けて検討を進めています。

このたび、組織改編の参考とするため岩手県滝沢村の柳村純一村長を招き、「いちばん館」にて機構改革講演会を開きました。滝沢村は人口が5万3000人で、日本一人口の多い村として知られ、民間の経営感

覚を持つて住民サービスに重点を置いた村づくりを積極的に進めています。

講演では、柳村村長が滝沢村における課長制・係長制廃止および「一職場一改善運動」をはじめとする行政改革等の実施経過や現状、今後の取り組み予定などを紹介。会場には村職員や議会議員など60人が訪れ、柳村村長の講演を熱心に聞いていました。

村では引き続き、事務事業の見直しと合わせて組織改編の検討を進め、今年10月を目途に改編案を作成



▲講演する柳村村長

し、来年4月から新たな組織体制で業務を執行する予定です。

## 誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
高橋 航平くん	英樹・みほり	二枚橋・須萱
佐藤 暖華ちゃん	豊洋・直子	飯 樋 町
高野 真由美ちゃん	勝延・ラケル	小 宮
赤石 沢優樹愛ちゃん	真一・知恵	大久保・外内
菅野 彩瑞ちゃん	智之・信子	大久保・外内

## 結婚おめでとう

氏 名	行政区
菅 野 知 典	関根・松塚
阿 部 恵 子	佐 須
佐 藤 政 美	前 田
神 尾 さゆり	伊達郡川俣町

いつまでもお幸せに

## お く や み

氏 名	年 齢	行政区
大久保 一 鋭	79	宮 内
佐 藤 光 政	58	小 宮
浦 住 サ ツ	86	前 田
庄 司 春 吉	62	伊 丹 沢
高 野 繁 子	72	伊丹沢（長泥）
大 内 正 人	80	佐 須
圓 谷 弘 長	79	藤 平

ご冥福をお祈り申し上げます

（6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載）  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

## ひとのうごき

（平成18年7月1日現在）

人 口	今 月 (前月比)	昨年同期
男	3269人 (-6人)	3342人
女	3302人 (-4人)	3395人
計	6571人 (-10人)	6737人
世帯数	1740戸 (+1戸)	1878戸

◆◆◆ 6月1日～31日までの人口動態 ◆◆◆			
転入	12人	転出	23人
出生	6人	死亡	5人

（平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口）  
※昨年同期は、平成12年国勢調査に基づく現住人口